

「関西活性化シンポジウム」を開催

平成26年8月8日、グランフロント大阪において、「関西が世界を変える 関西から世界を変えよう『WE SHALL CHANGE THE WORLD!』」をテーマに関西活性化シンポジウムを開催しました。

まず、理化学研究所 計算科学研究機構 機構長 平尾公彦氏による「スーパーコンピュータが未来を拓く」と題した基調講演があり、続いて、京都大学の松本総長、大阪大学の平野総長、神戸大学の福田学長、ダイキン工業の井上会長、サントリーホールディングスの鳥井副社長、理化学研究所の平尾機構長の6名によるパネルディスカッションを開催。（役職名はシンポジウム開催当日のものです）

京都大学、大阪大学、神戸大学の全面的なご協力を得てのシンポジウムは、今回で4回目となり、当行が長年取組んできました産学官連携活動は大きな広がりを見せています。



「ビジネス・エンカレッジ・フェア2014」開催

平成26年12月9日・10日の両日、「大阪国際会議場」において、『ビジネス・エンカレッジ・フェア2014 先進技術を発信。～関西から新たな未来を～』を開催いたします。

「地元関西の仕事の創造、競争力強化のお役に立ちたい」との想いで、平成12年よりスタートした当フェアは、産学官の出会いの場を設け、多面的なビジネスチャンスを生み出します。また、特別企画として、「産業技術総合研究所関西センター技術展～探そう、明日を拓く技術～」なども展示いたします。

当行は、これからも「地域第一主義」「お客さま第一主義」を念頭に、地域の活性化に貢献してまいります。



写真は、昨年の「ビジネス・エンカレッジ・フェア2013」

ベトナム進出・販路開拓を3ステップで応援!

産業振興連携協定を締結している堺市と連携し、ベトナムへの事業展開を検討されているお取引先を、平成26年8月22日より3つのステップで応援しました。

ステップ1の「ベトナム進出・販路開拓セミナー」では、現地進出や販路開拓のポイント、成功事例の紹介等、情報収集を図っていただきました。続いてステップ2の「ビジネス交流TV会議」では、「ホーチミン」・「ハノイ」・「堺市」をインターネットで結び、企業紹介等の交流を行いました。そして、ステップ3の「ベトナム経済交流ミッション」では、現地視察の他、販路開拓を目的としたビジネスマッチングを行いました。



おかげさまで、蘇州駐在員事務所 開設8周年

平成26年9月5日、蘇州市において「蘇州駐在員事務所開設8周年記念レセプション」を開催しました。蘇州市人民代表大会常務委員会・顧仙根副主任、日本国駐上海総領事館・丸山浩一首席領事をはじめ、地元政府関係者や現地日系企業の方々など約300名の皆様にご出席いただきました。

レセプションに先立ち、蘇州市人民政府商務局より、蘇州市の現在及び将来の取組みについて、ご説明いただきました。レセプションでは、当行相談役の服部より、「蘇州駐在員事務所の移転」を報告し、「経済・文化交流を通して、引き続き蘇州との架け橋の役割を果たしたい」と挨拶。

当行はこれからも、蘇州市とのネットワークを活用し、お取引先企業に価値のある情報を提供してまいります。



異業種「マッチング」によるコラボ商品が誕生

当行提案の異業種「マッチング」により、西宮「辰馬本家酒造」様、芦屋「六甲味噌製造所」様、神戸灘「北海」様の3社によるコラボ商品「摂津味処 三昧つけ麺」が誕生しました。7月15日に白鹿クラシックス（西宮市）にて開催した体験会（試食会）には、17社の報道関係者、3社の関係企業様が来場され、大変ご好評でした。さらに、11月10日には、3社によるコラボ商品第2弾として「摂津味処 三昧汁そば」が新発売されるなど、異業種「マッチング」の成果は更なる展開へと繋がっています。引き続き、当行はマッチングを通じて様々な形で地域ブランドを応援してまいります。



～芸術を志す若い力を応援～ 「2015年 池田泉州銀行カレンダー原画」決定

「地域のため、地域の皆さまのお役に立ちたい」との願いのもと、関西で芸術を志す若い力を応援するため、平成19年から毎年、「池田泉州銀行カレンダー原画」を募集しております。

8回目となる今回は、41大学（専門学校含む）1,247点もの応募作品の中から、「最優秀作」1点、「佳作」5点を選定しました。最優秀作・佳作に選ばれました6名の方々には、11月10日の表彰式において、これからの活躍を期待して、総額100万円を贈呈しました。最優秀作は2015年の当行カレンダーとしてお客さまへ約5万部お配りします。

当行はこれからも、地元金融機関として、地域文化の発展、地域社会の活性化に向けて、様々な取組みを行ってまいります。



自然環境保全活動に参加

平成26年9月27日に開催された共生の森「みんなで草刈活動」に、ボランティアとして当行の行員が参加し、過去に植えた苗木が草に負けて枯れることなく育つように、草刈りを行いました。

「共生の森」は、大阪府やNPO、企業等の団体が協働で堺市臨海部の廃棄物処分場跡地において、自然の力を活かしながら長い時間をかけ、森林空間などの自然環境を創出する取組みです。

